

令和 8 年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

令和 8 年 8 月 2 8 日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 福南地区青少年育成協議会
氏 名 伊藤 俊一郎

令和 8 年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

募集テーマ：「スポーツで広がる協働のまちづくり」

取組の名称	福南地区町別対抗中学生綱引き大会
取組の概要 インターネット投票を行うサイトにそのまま掲載します。 今年のテーマとの関連がわかるよう、目的及び取組概要、アピールポイントを 300 字（句読点含む）以内に記載してください。	福南地区青少年育成協議会（健全育成部）、福島・南輝学区体育協会及び福島・南輝学区連合町内会、福南中学校 PTA、福南中学校が共催して実施。健全育成部の活動目標は「（前略）スポーツ・芸術・文化・ボランティア・自然体験などの活動の場を提供し、青少年の主体的な取組を促し、豊かな生活体験が得られる地域活動を推し進める」。その活動の一つの本行事は、中学生が、保護者・教員・地域の大人と関わる多世代交流の場。全校生徒の半数以上が参加し、地域で見守り応援する。生徒の世話は町内会・PTA が、進行・審判は体育協会が担当し、学校・生徒・保護者・地域が協働し、スポーツの場・交流を維持する取組として地域に根付いている。
成果・効果 取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを書いてください。	近所付き合い等の地域での関わりが希薄化している現在の社会情勢の中、自分が住んでいる町内の単位で中学 1 年生から 3 年生までの異学年の生徒が綱引きというスポーツを通して交流する貴重な行事となっている。毎年、競技には中学生約 200 人（全校生徒の半数以上）が参加し、7 団体・約 90 人の地域の大人が運営に携わる。2007 年以来 17 回にわたり継続してきた実績がある。その運営を複数の地域団体が協働して実施しているこの行事は、青少年が保護者でも学校の先生でもない地域の大人と関わりを持つ場となっており、青少年が自分たちは大切にされているという実感を持つことに繋がっている。また、運営する地域の大人同士のつながりも生み出し、地域を活性化しているとともに、地域に愛着の心情を大人にも子どもにも育んでいる。

● 次の書類等を添付してください。

①〔様式 1〕協働による社会課題解決の取組の内容

②〔様式 2〕取組実施団体概要書

③写真等取組イメージ画像の電子データ（1 枚）

インターネット投票を行う際のエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順（事務局受付順）に掲載します。

④取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート（デジタルデータ）1 枚

シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います（シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。）

⑤その他取組の説明資料：A 4 で 2 ページ以内の資料を添付できます。

※提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、〔様式 2〕以外は原則、ホームページ等で公開します。

〔様式 1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	福南地区町別対抗中学生綱引き大会	
テーマとの関連	◎取組とテーマが合致している点を書いてください。 青少年の健全な心身の育成を図るスポーツ行事を、複数の地域団体・学校・保護者が協働して継続実施している。綱引きを通じた多世代交流や地域コミュニティの活性化、子どもたちのスポーツの場・交流の維持に資する取組であり、テーマ「スポーツで広がる協働のまちづくり」に合致している。	
取組の目的・目標	◎取組の目的・目標を社会課題の具体的な状況をふまえて書いてください。 近所付き合い等の地域での関わりが希薄化している現在の社会課題がある中、自分が住んでいる町内の単位で中学 1 年生から 3 年生までの異学年の生徒が綱引きというスポーツを通して交流する貴重な行事である。運営するのは地域団体で、2007 年から現在に至るまで（2020 年から 2022 年の 3 年間はコロナ禍で中止）継続して実施しており、今年は 17 回目となった地域に根差した行事である。各運営団体のスタッフ同士の交流も生まれ、地域の活性化にもつながっている。 この行事を通して、青少年の健全な心身の育成を目的にしながら、人と人とのつながりと地域への愛着も生むことを目指している。	
取組の内容	◎取組の内容について具体的に書いてください。 1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など （対象地域）福南中学校校区 （対象者）福南中学校の生徒 （対象人数）競技参加は、中学生 200 人 運営スタッフは、育成協議会 40 人 南輝学区体育協会 8 人 福島学区体育協会 8 人 町内会役員 3 人 町内会保護者（PTA）20 人 教員 12 人 2 活動内容、実施方法など 町別で男女各 8 チームを編成 予選リーグを実施した後、上位による決勝トーナメントを行う。 事前に放課後の時間を使って各町内の保護者が参加したチーム編成会等を行う。 3 工夫した点や取組の特徴 少子化に伴い、単独町内会で人数がそろわない生徒も参加できるよう、合併チームを編成し、どの生徒も取りこぼさない包摂的な運営を工夫している。 ◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLを書いてください。	
取組の実施期間	始期： 2007 年 7 月～	☒ 継続予定 ☐ 令和 年 月終了 ☐ 令和 年 月頃終了予定 該当するものに☑し必要事項を記入してください。
今後の活動展開など	◎今後の成果の普及や活動展開などについて書いてください。 今年で 17 回を迎えたこの行事は、今後も地域に根差した行事として継続される予定。 地域の大人と中学生が交流する行事として大切にしていくと同時に、参加した中学生が卒業後、地域の大人として、運営に携わるようになることを期待している。	

協働による 効 果	◎協働したことにより達成できたことや得られた効果を書いてください。 住民自治組織・教育機関・体育団体・PTA という他分野の団体が、動員力、運営ノウハウ、会場提供等の各々の強みを持ち寄ることで、単独では実現できない大規模なスポーツ行事が毎年成立している。生徒は、保護者でも学校の先生でもない立場の地域の大人からも大切にされている実感を持つことができ、スポーツ行事を通して地域への愛着に繋がっている。	
協働団体と その役割 ※協働団体が他分野にわたっていることや、各団体の関わりの深さも評価の対象となります。 ※足りない場合は欄を追加してください。	団 体 名	福南地区青少年育成協議会
	団体種別	☐住民自治組織 ☒市民活動団体 ☐企業 ☐教育機関 ☐行政 ☐その他（ ）
	役 割	主催（企画・運営）
	団 体 名	福島学区体育協会
	団体種別	☐住民自治組織 ☒市民活動団体 ☐企業 ☐教育機関 ☐行政 ☐その他（ ）
	役 割	進行・審判
	団 体 名	南輝学区体育協会
	団体種別	☐住民自治組織 ☒市民活動団体 ☐企業 ☐教育機関 ☐行政 ☐その他（ ）
	役 割	進行・審判
	団 体 名	福島学区連合町内会
	団体種別	☒住民自治組織 ☐市民活動団体 ☐企業 ☐教育機関 ☐行政 ☐その他（ ）
	役 割	共催
	団 体 名	南輝学区連合町内会
	団体種別	☒住民自治組織 ☐市民活動団体 ☐企業 ☐教育機関 ☐行政 ☐その他（ ）
	役 割	共催
	団 体 名	岡山市立福南中学校 PTA
	団体種別	☐住民自治組織 ☒市民活動団体 ☐企業 ☐教育機関 ☐行政 ☐その他（ ）
	役 割	準備・チーム管理
	団 体 名	岡山市立福南中学校
	団体種別	☐住民自治組織 ☐市民活動団体 ☐企業 ☒教育機関 ☐行政 ☐その他（ ）
	役 割	準備・会場提供
	団 体 名	
	団体種別	☐住民自治組織 ☐市民活動団体 ☐企業 ☐教育機関 ☐行政 ☐その他（ ）
	役 割	
	団 体 名	
	団体種別	☐住民自治組織 ☐市民活動団体 ☐企業 ☐教育機関 ☐行政 ☐その他（ ）
	役 割	
	団 体 名	
	団体種別	☐住民自治組織 ☐市民活動団体 ☐企業 ☐教育機関 ☐行政 ☐その他（ ）
	役 割	
	団 体 名	
	団体種別	☐住民自治組織 ☐市民活動団体 ☐企業 ☐教育機関 ☐行政 ☐その他（ ）
	役 割	